

土木学会デザイン賞 2020年度奨励賞 ウエスコ受賞

この度、「百間川分流部改築事業」が、「土木学会デザイン賞 2020年度奨励賞」に選定されました。

主な関係組織・関係者として(株)ウエスコ・高橋邦治が、土木学会のホームページで紹介されています。「百間川分流部改築事業」のうちウエスコは、一の荒手の亀の甲の詳細設計を実施し、以下の URL に掲載されています。

また、2021 年 1 月 23 日(土)に土木学会講堂にて授賞式及び受賞作品プレゼンテーションが開催されます。

■2020 年受賞作品

<http://design-prize.sakura.ne.jp/award>

「百間川分流部改築事業」:(株)ウエスコ・管理技術者:高橋邦治

<http://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/1459>



選考委員の講評：

広大かつ豊かな自然環境が広がる分流部の風景の中で 歴史的遺構である「一の荒手」を中心とした構造物をどう整備するかは「百間川分流部改築事業」の中でも特に大きな課題であったと思う。「一の荒手」の整備では、半ば土中にあった「亀の甲」を掘り起こし、個々の石材の位置を記録して解体、緩みのある箇所を修正した上で、石材の位置にもこだわって形状を復元した「亀の甲羅」のような曲線美が実に美しい。

また、新しく築造した亀の甲の土台ともなる本体工は、亀の甲と石材の色相を変えている。そのコントラストは明快であり、新旧構造物の履歴を容易に理解できる。亀の甲と本体工・階段工との接合部分も丁寧に仕上がっていて好感が持てる。

ただ、歴史的遺構の復元、自然環境の保全、水辺利用との調和という視点から二の荒手、背割堤等を含む分流部全体を評価することには戸惑いを感じた。今後の維持管理の中で達成していく大きな目標のように感じる。